

# 栃事研会報

第70号

栃木県公立小中学校事務職員研究協議会

編集発行人 大橋利昭

## 主な内容

会長あいさつ 他	1
研究部プレ発表 他	2
専門部紹介	3
栃事研からのお知らせ	4
HP アドレス	<a href="http://tochijiken.or.tv/">http://tochijiken.or.tv/</a>



## 会長あいさつ

## 栃事研会長 大橋利昭

昨年度は、「子どもの豊かな育ちを支援する学校事務」を新たに研究主題とし、共同実施や研修の充実を通して地域や保護者からも信頼される学校事務職員像の構築を目指し活動してまいりましたが、会員の皆様方のご協力により、一定の成果をあげることができたものと思っております。

特に、学校事務部門の強化を図るための調査研究として、栃木県小学校長会・栃木県中学校長会のお力添えにより、県下全校長先生にアンケートを実施することができ、今後の研究研修活動の大きな礎になるものと思っております。

さて、教育関連三法の改正、新学習指導要領の公示、学校評価の本格的実施等々、今まさに教育は国民の関心事であり、期待も高まる中、学校運営や教職員の質がよりいっそう問われるようになってきています。

このためにも、新たな事務処理体制の充実が必要であり、共同実施の推進や学校組織マネジメントに対応した事務部の在り方といったことが大変重要な課題であり、学校長の学校経営方針を踏まえ、適正な事務処理を行い、自校の教育目標達成のため一層の充実に向けていくことが肝要であり、学校にいるからこそ、できること、やれることを積極的に担っていきたいものです。

これらのことは、もちろん、子どもたちの豊かな育ちを支援していくためであり、研究主題を引き続き「子どもの豊かな育ちを支援する学校事務」とさせていただきます。

栃事研といたしましても、会員の皆様の期待にお応えできるよう、日々、気持ちを新たに積極的に関心を展開してまいりますので、会員の皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。

## 平成20年度 研修会並びに総会

平成20年5月23日（金）宇都宮市文化会館において、平成20年度研修会並びに総会が多数の会員の参加をもちまして開催されました。

文部科学省行政説明では、文部科学省生涯学習政策局社会教育課地域・学校支援室長 佐藤弘毅様から「学校支援地域本部事業について」と題して、その狙いや具体的な事業の内容についてなど、丁寧にご説明をいただきました。

総会では、第1号議案から第6号議案についてそれぞれ審議いただき了承されました。新役員のあいさつ、事務局・専門部長の委嘱及び全事研役員のご紹介がありました。引き続き、長年にわたり栃事研活動に尽力いただき、退会なされました13名の方々に感謝状が贈呈され総会を終了しました。

研修会では、栃事研研究部より「響け！学校事務のハーモニー♪」と題して、研究部で長年研究してきた成果について、全国大会福島大会のプレ発表を兼ねて、発表が行われました。



# 響け！学校事務のハーモニー

5月23日の研修会では、研究部による8月に迫った全国大会福島大会での分科会提案のリハーサルを兼ねた研究発表が行われました。

提案は前半に、これからの学校事務を担うための3つのポイントとして、「学校裁量権の拡大」「きめ細やかな学習指導の支援」「地域社会との連携」を挙げ、目指す“とちぎの学校事務職員像”として、3つの専門的力量「財務管理力」「情報管理力」「危機管理力」を身につけ、学校経営に積極的に参画していく未来像についての提案がありました。

後半では、求める学校事務職員像実現のための具体的な手立てとして、組織化による「協働支援」と「協同実施」の取組みを、鹿沼市・日光市の共同実施組織を紹介しながら、学校事務職員組織による学校支援を音楽にたとえ、『響』働支援と『響』同実施による“未来予想譜”の提示がありました。



会場からは、提案の感想や全国大会へ向けたアドバイス等があり、会員の皆さんがそれぞれにこの研究発表やとちぎの学校事務職員の未来像を真剣に考えているかをうかがい知れます。アンケートでいただいた意見等も参考にしながら編曲（アレンジ）を加え、さらに素敵な楽曲に作り上げてくれることと思います。

平成20年、夏、福島の地で、どのようなハーモニーを奏でてくれるのでしょうか。ラストパートに入った研究部の皆さんに、大きなエールを送りたいと思います！

## 栃事研活動にご協力を！！

## 栃事研事務局

栃事研の事務局は、会長・副会長のご指導の下、栃事研の研究主題の達成のために総務部、財務部、広報部で活動を進めております。今年度は、総務部に新人3名を迎え、総勢22名で「とちぎの学校事務」の円滑かつ実績のある運営を目指しています。

総務部は、栃事研概要の作成、新加入会員等研修会や事務研究大会の企画運営、また関係諸団体との連絡調整など行っております。特に今年度は、昨年出された答申を受けて、スリム化を図った中でも、迅速・正確性をもって会員のニーズにそった運営に携わっていきたくております。



財務部は会の円滑な運営のため、有効な予算の執行に尽力しております。また、広報部は栃事研の広告塔。ホームページには日頃の仕事に役立つ情報が掲載されています。ぜひ会員のページをあけてみてください。

ある意味縁の下の力持ち的な仕事ではありますが、部員それぞれ日々意欲を持って魅力ある栃事研になるよう前向きに活動していきます。ご意見ご要望がありましたら、いつでもお声かけください。私たち部員の励みともなります！ どうぞよろしくお祈りいたします。



## 平成20年度 専門部紹介

## 研修部



研修部、ここがすごい!



- 1 研究大会を成功させるため、頑張ります！  
→ 参加した皆さんを、後悔させない大会の企画をします。
- 2 セミナーで事務職員の資質 UP！ → 今年も、仕事に役立つ内容でセミナーを用意していますので、是非、参加して下さいね。
- 3 会員の研修状況を HP で紹介！ → 他の地区・市町ではどんな研修をしているのかは、気になるところ…。HP でそんな情報がゲットできます。
- 4 拡がろう共同実施！ → 共同実施の情報を収集・整理・提供します。
- 5 研修を充実したものに！ → さらに、出来る事務職員を目指して、研修制度を充実させるような取り組みをします。



…と、言っていたらできるよう、努力していきますので、研修部をよろしくお願いいたします。

## 研究部



今年度の研究部は、新たに2名の部員を迎え入れ、総勢11名になりました。(相変わらず事務長不在の専門部です!) 何といたしましても今年度は、8月に開催される「第40回全国公立小中学校事務研究大会 福島大会」の第1分科会におきまして研究発表を行います。研究発表をするのは確かに大変です。しかし、学校事務職員として生きる中で、生涯に一度、自分たちの考えを発表する機会があってもよいのではないのでしょうか。そう前向きに考え、真夏の郡山の地でこれまで研究してきたすべてをぶつけて来たいと考えています。樋口担当副会長を筆頭に、抜群のチームワークでこの夏を、そしてこの1年を過ごしていきたいと考えています。どうぞ、研究部にご指導・ご支援をよろしくお願いいたします。

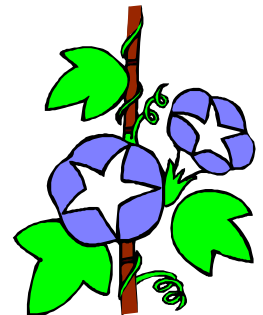


## 調査部



栃事研研究主題のもと、活動目標達成のために有効な調査等を実施し、迅速な情報の収集とタイムリーな提供を心がけ、研究・研修活動の充実、支援に努めてまいります。

活動内容の詳細につきましては、5月23日の栃事研総会並びに研修会時に配付いたしました総会議案書をご覧ください。



## \*\*\* 栃事研からのお知らせ \*\*\*

### 新加入会員等研修会

期日 平成20年7月22日(火)  
会場 学校生協会館  
今年度新規採用の方(臨採職員を含む)  
を対象に栃事研の活動の説明や意見交  
換を行います。

### 栃事研セミナー

期日 平成20年8月19日(火)  
会場 壬生町立生涯学習館  
今年度は夏休みに開催します。たくさ  
んの方の参加をお待ちしています。

### 全国公立小中学校事務研究大会 (福島大会)

期日 平成20年8月6日(水)  
～8日(金)  
会場 ビックパレットふくしま 他  
栃事研研究部が、第1分科会の提案発表  
を行います。皆様のご支援をよろしくお  
願いします。

### 平成20年度学校事務研究大会

期日 平成20年11月27日(木)  
会場 宇都宮市文化会館

### 関東地区公立小中学校事務研究大会 (山梨大会)

期日 平成21年1月29日(木)  
～30日(金)  
会場 甲府総合市民会館 他

栃事研  
ホームページを  
よろしく②

ここ数年、教員の多忙感が取り上げられていますが、同様に私  
たちの仕事量も増加の一途にあると思います。そのような状況を  
会員の協力によって乗り越えられるよう、栃事研のホームページ  
では会員の方が作成した事務だよりや説明資料、事務処理プログ  
ラムの掲載により、情報の共有化に努めています。

また、会員のページの掲示板では、小さな疑問点の解決のため  
にサポート掲示板を設置しています。「お互い助け合いながら職務を遂行していく」ことは従来から各  
市町の学校間で行っていますが、もっと広く情報の共有化ができれば素晴らしいことだと思います。

サポート掲示板の一例ですが、期末勤勉手当に関する計算について書き込みがあります。その中で  
教員の「役職段階別加算」の5%→10%の境がどこか(2-112か113か)という疑問について、  
何人かの書き込みにより問題が解決しています。このことは一例ですが見  
るだけでもたいへん参考になると思います。(参考になる意見や改善策などを書  
き込んでいただけたらもっとうれしいです。)どうぞよろしくお願いいたします。

<http://tochijiken.or.tv/>

### 編集後記

先日、テレビで小野田寛郎さんの姿を拝見した。ルバング島で終戦を知らず30  
年もの間暮らしていたという元少尉の方である。85歳になられた今もとてもそんなお年には見えず  
大変お元気そうであることにいたく感心した。発見された当時、それほど長く不自由な生活をされて  
いたことを可哀想に…とっていた。しかし、今、環境問題や省エネに躍起になっている私たちの方  
がよほど可哀想な人たちで、小野田さんの方がどれほど健康的でエコな生活をされていたのだろうと  
思った。マイバッグ持参くらいしかしていないが、子どもたちの未来に少しでも役に立てればと思う。

